






※重要な種の保護の観点から、  
確認位置については表示していません。

凡例

-  対象事業実施区域
-  対象事業実施区域(港湾施設)
-  :産卵に適した場所
-  :可能性は低いが生産可能な場所
-  :アカウミガメの上陸確認位置

0 0.5 1 2 km

1:40,000



図-3.1.36 ウミガメ類の産卵適地及び上陸確認位置

(m) サンゴ類・藻場

表-3. 1. 83 に示す 12 科 78 種のサンゴ類が確認されました。重要な種は確認されませんでした。サンゴ類の分布状況を図-3. 1. 37 に示します。馬毛島東側のサンゴ類の被度は低く、南側及び西側の被度が高いことが把握されました。

また、表-3. 1. 84 に示す 46 科 103 種の海藻草類が確認されました。このうち重要な種は 6 種が確認されました。重要な種の確認位置を図-3. 1. 38 に示します。藻場については、藻場構成種（ホンダワラ属、オバクサ等）は確認されましたが、藻場と称せるまとまった規模の群落は形成されていませんでした。

表-3. 1. 83(1) サンゴ類の確認種及び重要な種（概況調査）

No.	科名	種名	選定基準
			(6) 国 RL (海洋)
1	ミドリイシ	コイボミドリイシ	
2		コユビミドリイシ	
3		<i>Acropora</i> aff. <i>gemmifera</i>	
4		ナカユビミドリイシ	
5		エンタクミドリイシ	
6		ニホンミドリイシ	
7		スギノキミドリイシ	
8		クシハダミドリイシ複合種群	
9		ミドリイシ属（樹枝状）	
10		ミドリイシ属（コリンボース状）	
11		ミドリイシ属（テーブル状）	
12		アナサンゴ	
13		アナサンゴ属	
14		ニオウミドリイシ属	
15		グリセアコモンサンゴ	
16		ノリコモンサンゴ	
17		ミダレアミメコモンサンゴ	
18		アミメコモンサンゴ	
19		コモンサンゴ属（被覆状）	
20	ヒラフキサング	シワシコロサンゴ	
21		シコロサンゴ属	
22	ムカシサンゴ	ムカシサンゴ	
23	ヤスリサンゴ	ヤスリサンゴ	
24	キサング	ウネリスリバチサンゴ	
25		ヨコミズスリバチサンゴ	
26		スリバチサンゴ属	
27	ハナサンゴ	アザミサンゴ	
28	オオトゲサンゴ	ヒメオオトゲキクメイシ	
29		ヒラタオオトゲキクメイシ	
30		Homophyllia 属	
31		キッカサンゴ	
32		アバレキッカサンゴ	
33		アマクサオオトゲキクメイシ	
34		オオトゲサンゴ科	

表-3. 1. 83(2) サンゴ類の確認種及び重要な種 (概況調査)

No.	科名	種名	選定基準	
			(6) 国 RL (海洋)	
35	サザナミサンゴ	マルキクメイシ		
36		パリカメノコキクメイシ属		
37		マダラトゲキクメイシ		
38		ニホントゲキクメイシ		
39		フカトゲキクメイシ		
40		トゲキクメイシ属		
41		ナミキクメイシ		
42		<i>Dipsastraea</i> cf. <i>favus</i>		
43		アラキクメイシ		
44		ウスチャキクメイシ		
45		キクメイシ		
46		キクメイシ属		
47		カメノコキクメイシ		
48		マルカメノコキクメイシ		
49		ゴカクキクメイシ		
50		シモフリゴカクキクメイシ		
51		タカクキクメイシ		
52		オオカメノコキクメイシ		
53		カメノコキクメイシ属		
54		コカメノコキクメイシ		
55		コカメノコキクメイシ属		
56		サザナミサンゴ		
57		ミダレカメノコキクメイシ		
58		シモフリカメノコキクメイシ		
59		ウネカメノコキクメイシ属		
60		チヂミノウサンゴ		
61		ヒラノウサンゴ		
62		ヒメノウサンゴ		
63		ノウサンゴ属		
64		サザナミサンゴ科		
65		ハナヤサイサンゴ	ハナヤサイサンゴ	
66			チリメンハナヤサイサンゴ	
67			<i>Stylophora</i> aff. <i>pistillata</i>	
68		ハマサンゴ	<i>Goniopora</i> cf. <i>djiboutiensis</i>	
69			フタマタハマサンゴ	
70			ベニハマサンゴ	
71			コブハマサンゴ	
72			ハマサンゴ属 (被覆状)	
73			ハマサンゴ属 (塊状)	
74		アミメサンゴ	アミメサンゴ	
75		所属不明	ヒメルリサンゴ	
76			トゲルリサンゴ	
77		アナサンゴモドキ	カンボクアナサンゴモドキ	
78			イタアナサンゴモドキ	
計		12	78	0

注：種名及びリストの並びについては、「日本の有藻性イシサンゴ類-種子島編-」（国立環境研究所、2015）、  
「串本海中公園マリンバビリオン特別号 No. 4-6」（串本海中公園センター、2016）、「西表島網取湾の造  
礁サンゴ類. 西表島研究」（横地洋之ほか、2019）、「宮古諸島造礁サンゴ目録. 宮古島市史 第三巻 自然編  
第I部みやこの自然 別冊」（梶原健次ほか、2020）、WoRMS (World Register of Marine Species,  
<http://www.marinespecies.org>, 2020) を参考にしました。

表-3. 1. 84(1) 海藻草類の確認種及び重要な種 (概況調査)

No.	綱名	目名	科名	種名	選定基準			
					(5)	(7)		
					国 RL	県 RDB		
1	藍藻	ユレモ	ユレモ	ユレモ科				
2		-	-	藍藻綱				
3	緑藻	アオサ	アオサ	アオサ属				
4		シオグサ	ウキオリソウ	アミモヨウ				
5			シオグサ	シオグサ属				
6		クダネダシグサ	マガタマモ	キッコウグサ				
7		イワズタ	イワズタ	ヘライワズタ				
8				ヒナイワズタ	VU	絶II類		
9				クビレズタ	DD	不足		
10				コケイワズタ				
11				イワズタ属				
12				サボテングサ	サボテングサ	ウチワサボテングサ		
13						サボテングサ属		
14						ハゴロモ	マユハキモ	
15				ミル	ミル	ナンバンハイミル		
16						ハイミル		
17		ミル属						
18		ハネモ	ハネモ	ハネモ属				
19		カサノリ	ダジクラズス	フデノホ				
20			カサノリ	ヒナカサノリ				
21	カサノリ科							
22	珪藻	-	-	珪藻綱				
23	褐藻	イソガワラ	イソガワラ	イソガワラ科				
24		アミジグサ	アミジグサ	ウラボシヤハズ				
25				シワヤハズ				
26				ヤハズグサ属				
27				ハイアミジグサ				
28				イトアミジ				
29				アミジグサ属				
30				フタエオオギ				
31				ハイオオギ属				
32				ウミウチワ属				
33				フクリンアミジ				
34				ジガミグサ				
35				シマオオギ				
36				エツキシマオオギ				
37				カヤモノリ	カヤモノリ	フクロノリ		
38		ケヤリモ	ケヤリモ	ケヤリ				
39		ヒバマタ	ホンダワラ	ホンダワラ属				
40	紅藻	ウミゾウメン	ガラガラ	ソデガラミ				

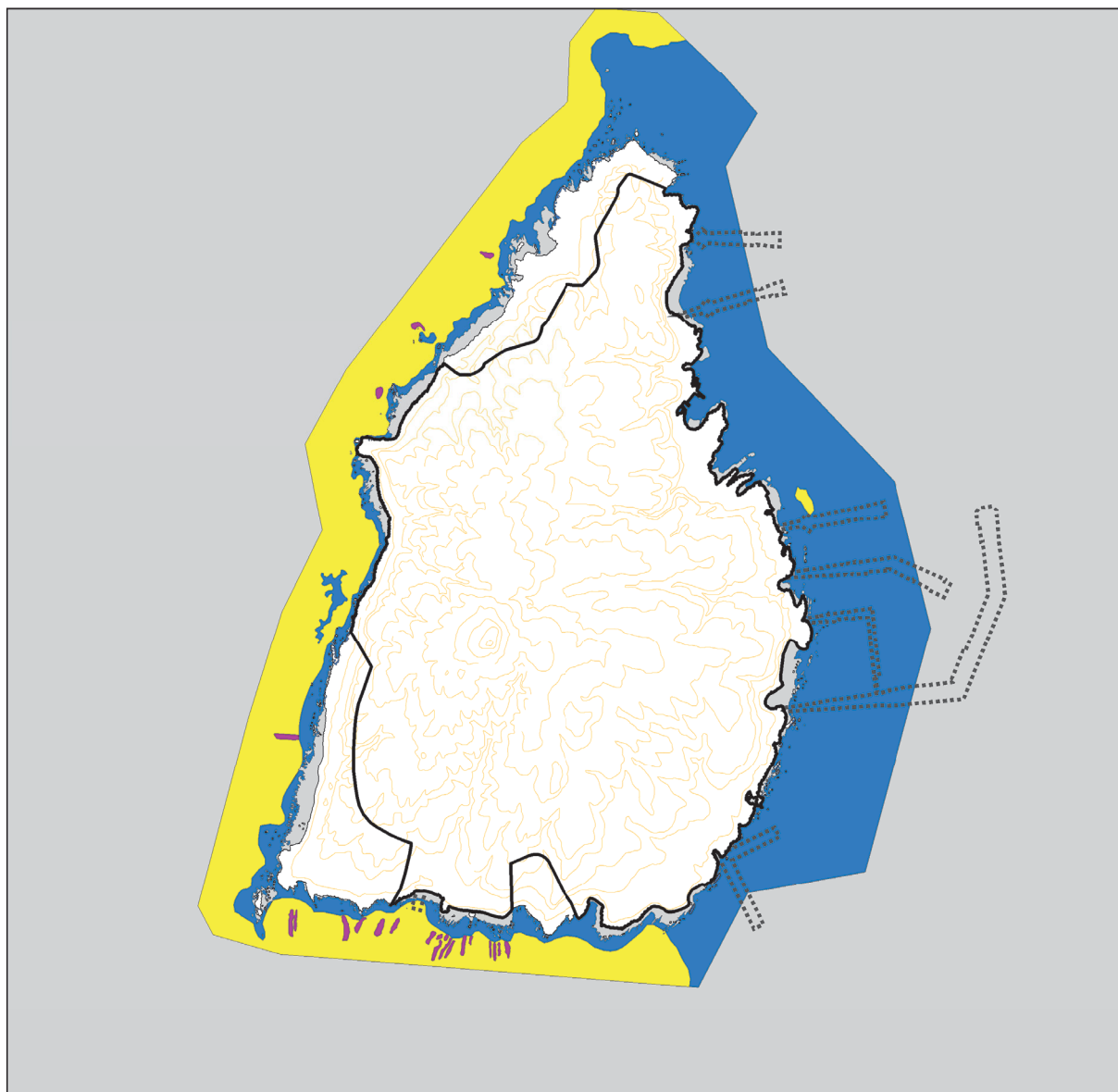
表-3. 1. 84(2) 海藻草類の確認種及び重要な種（概況調査）

No.	綱名	目名	科名	種名	選定基準	
					(5)	(7)
					国 RL	県 RDB
41	紅藻	ウミゾウメン	ガラガラ	ヒラガラガラ		
42				ガラガラ		
43			コナハダ	アケボノモズク	DD	不足
44				コナハダ科		
45			フサノリ	ジュズフサノリ		
46				フサノリ属		
47		サンゴモ	サンゴモ	カニノテ属		
48				ピリヒバ		
49				モサズキ属		
50			-	サンゴモ目（無節サンゴモ類）		
51		テングサ	テングサ	マクサ		
52			オバクサ	オバクサ		
53		カギケノリ	カギケノリ	カギケノリ		
54		スギノリ	リュウモンソウ	ヒビロウド		
55			スギノリ	カイノリ		
56				スギノリ属		
57				ツノマタ属		
58			ムカデノリ	チャボキントキ		
59				フイリグサ	DD	不足
60				キントキ属		
61				ムカデノリ科		
62			イバラノリ	イバラノリ		
63				コケイバラ		
64				イバラノリ属		
65			ツカサノリ	ツカサアミ		
66			イワノカワ	イワノカワ科		
67			ユカリ	ユカリ		
68			ナミノハナ	ホソバナミノハナ		
69			アツバノリ	ミアナグサ		
70				ミアナグサ属		
71	ヌラクサ		ヌラクサ			
72	ミリン		トサカノリ	NT	準絶	
73			ミリン			
74	オゴノリ	オゴノリ	カバノリ			
75			オゴノリ属			
76	マサゴシバリ	ワツナギソウ	ヒラワツナギソウ			
77			ワツナギソウ			
78		フシツナギ	カイメンソウ属			
79		マサゴシバリ	ハナノエダ			
80			マサゴシバリ			

表-3. 1. 84(3) 海藻草類の確認種及び重要な種（概況調査）

No.	綱名	目名	科名	種名	選定基準		
					(5)	(7)	
					国 RL	県 RDB	
81	紅藻	イギス	カリタムニオン	ヨツノサデ属			
82			イギス	イギス属			
83			ウブゲグサ	ウブゲグサ			
84			ランゲリア	ランゲリア			
85			ダジア	ダジア科			
86			コノハノリ	ハイウスバノリ属			
87				アヤニシキ			
88				カラゴロモ			
89			フジマツモ	ハナヤナギ		VU	絶II類
90				ベニヤナギノリ			
91				ヤナギノリ属			
92				マクリ			
93				クモノスヒメゴケ			
94				アカソゾ			
95				ハネソゾ			
96				ソゾ属			
97				ジャバラノリ			
98				カエリナミ			
99				タカサゴソゾ属			
100				イトクズグサ			
101				フジマツモ科			
102	イギス目						
103	-	-	紅藻綱				
計	5	21	46	103	6	6	

注：種名及びリストの並びについては、「日本産海藻目録（2015年改訂版）」（吉田忠生ほか、2015）を参考にしました。



凡例

- 対象事業実施区域
- 対象事業実施区域(港湾施設)

被度

- :5%未満
- :5%以上25%未満
- :25%以上50%未満

0 0.5 1 2 km

1:40,000






図-3. 1. 37 サンゴ類の分布状況図



※重要な種の保護の観点から、  
確認位置については表示していません。

凡例

-  対象事業実施区域
-  対象事業実施区域(港湾施設)
-  :ヒナイワズタ

0 0.5 1 2 km

1:40,000



図-3.1.38(1) 重要な植物種（海藻草類）確認位置図





※重要な種の保護の観点から、  
確認位置については表示しておりません。

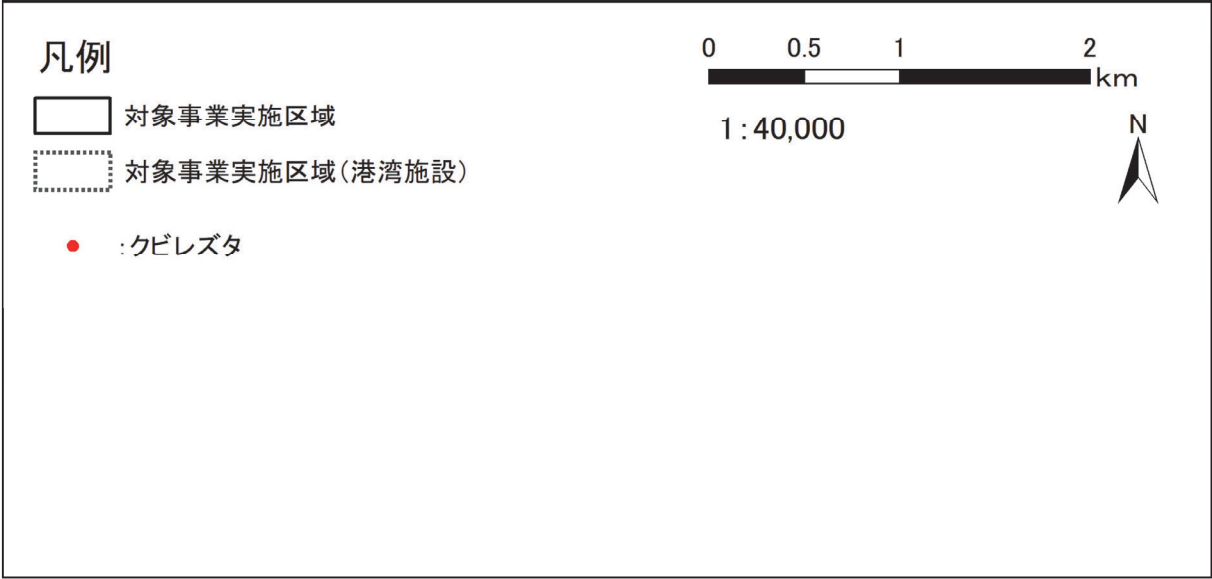





図-3. 1. 38(2) 重要な植物種（海藻草類）確認位置図



※重要な種の保護の観点から、  
確認位置については表示しておりません。

凡例

-  対象事業実施区域
-  対象事業実施区域(港湾施設)
-  :アケボノモズク






1:40,000



図-3. 1. 38(3) 重要な植物種（海藻草類）確認位置図

※重要な種の保護の観点から、  
確認位置については表示していません。

凡例

-  対象事業実施区域
-  対象事業実施区域(港湾施設)
-  :フイリグサ

0 0.5 1 2 km

1:40,000



図-3.1.38(4) 重要な植物種(海藻草類)確認位置図



※重要な種の保護の観点から、  
確認位置については表示しておりません。

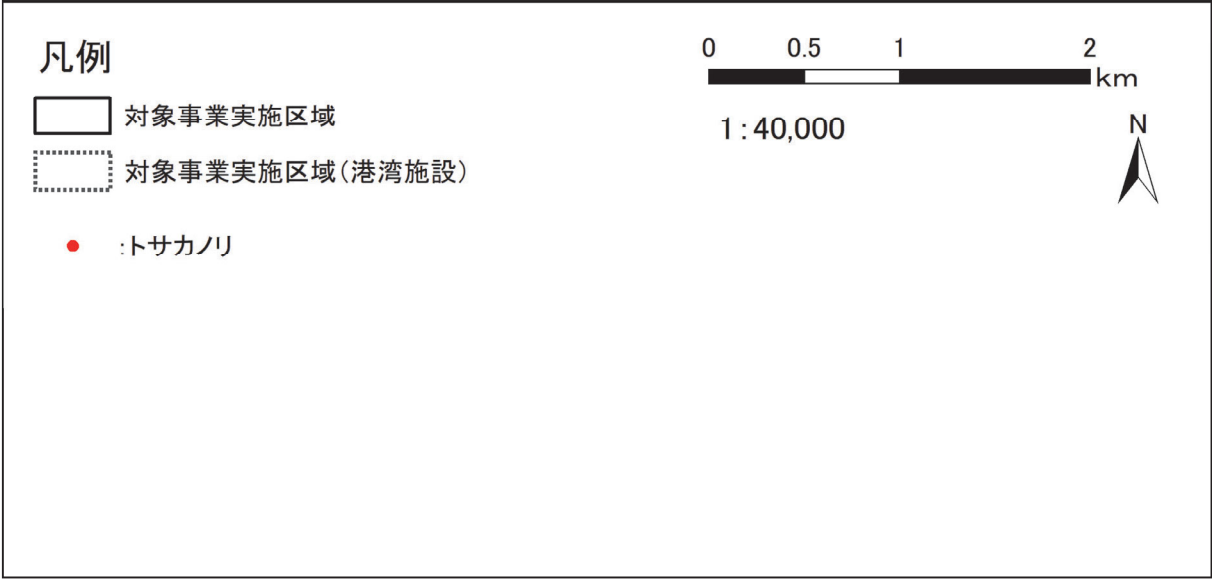





図-3. 1. 38(5) 重要な植物種（海藻草類）確認位置図



※重要な種の保護の観点から、  
確認位置については表示しておりません。

凡例

-  対象事業実施区域
-  対象事業実施区域(港湾施設)
-  :ハナヤナギ

0 0.5 1 2 km

1:40,000



図-3.1.38(6) 重要な植物種（海藻草類）確認位置図

## (2) 生態系

対象事業実施区域がある馬毛島は、当該地域に卓越するシイ・カシを主体とする樹林が島北側の東西にそれぞれ小面積残存し、多くはシバ群落、ススキ群落からなる草地や裸地となっています。また、概況調査では、島内にはシカが生息しているほか、魚食の猛禽類であるミサゴが生息しています。

海岸部は岩礁が主体で、一部に砂浜や礫浜が分布しています。これらの環境には海藻草類、付着動物、甲殻類及び魚類からなる生物相が成立しているとみられます。また、海域では、サンゴ類や海藻草類とこれらを生息場とする魚類や底生生物からなる生物相が成立しているとみられます。

種子島では、北部は標高が比較的高く、山がちで、シイ・カシを主体とする樹林にスギ・ヒノキ・サワラ植林が部分的に分布しており、イタチ・コウモリ類や樹林性の鳥類や猛禽類等からなる動物相が成立しているとみられます。一方南部は比較的なだらかな地形で、シイ・カシ林のほか、平坦な段丘面や低地には畑地や水田が広がっており、草地性の小型哺乳類・鳥類や水辺の両生類・爬虫類、これらを捕食するイタチや鳥類（サギ類や猛禽類）等からなる動物相が成立しているとみられます。

### 3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況

#### (1) 景観

##### 1) 自然景観資源

「第3回自然環境保全基礎調査 自然景観資源調査」により選定された調査対象地域における自然景観資源を表-3.1.85 及び図-3.1.39 に示します。なお、対象事業実施区域においては、自然景観資源は選定されていません。

表-3.1.85 自然景観資源

資源名	名称	市町
岩脈	野木平	西之表市
海食洞	馬立の岩屋	中種子町
	千座の岩窟	南種子町
湖沼	宝満の池	南種子町
	長谷の池	南種子町
湿原	平山の湿原	中種子町、南種子町
海成段丘	西海の海成段丘	中種子町、南種子町
砂丘	前の浜	南種子町
海食崖	門倉岬	南種子町

出典：「第3回自然環境保全基礎調査 鹿児島県自然環境情報図」（環境庁、平成元年）

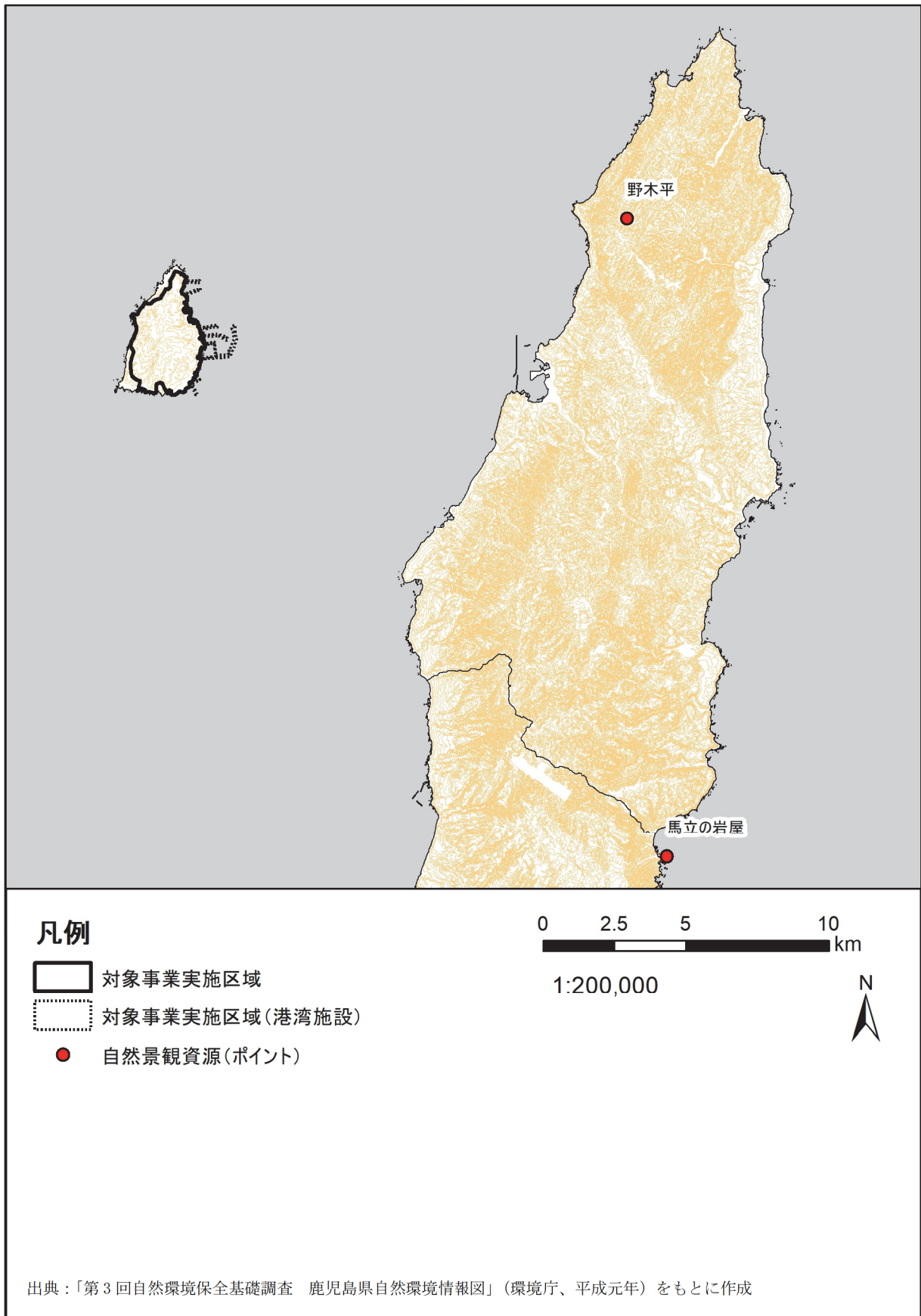


図-3. 1. 39(1) 自然景観資源